つながる、
深まる看護のチカラ

ともに成長する
プロフェッショナルへの道

磐田市立総合病院
看護部 2020

つながりと深まりを見せる看護のチカラ

専門性の高い医療チームの中で安心して力を発揮できる

副病院長兼看護部長　**中村 さつき**

あなたを温かく迎え、チームで育て、自分のやりたい看護を実践してもらいたい。

私たちが目指す看護は「医療の原点は思いやりである」という病院理念の元、地域の皆様に信頼される安全で質の高い看護を提供することです。急性期病院で勤める専門職業人として日々研鑽に励めるように教育に力を入れています。そのために、いつでもどこでも勉強できるようにeラーニングを導入しており、JNAラダーを取り入れた教育体制を取っています。また、何でも言い合えるような風通しの良い職場づくりを目指して勉強会やカンファレンスなどを充実させています。そして、医師を初めとして多職種と連携し、チームで1人の患者さんの入院前から退院後の生活を見据えた医療を行っています。スタッフ同士が協力的なので安心して任せられ、患者さんに優しく関わってくれるので、患者さんからのありがとうメッセージを頂く機会が多くなったことを嬉しく思っています。

特筆すべきことは地域の看護代表者とミーティングの機会を設け、当院の特徴を理解して頂き、また、他施設の状況を理解した上での連携に努めていることです。その一貫として、訪問看護ステーション研修や地域包括ケアセンターの研修にも力を入れています。

病院スタッフやその家族も含め、教育、チーム医療、入退院支援等、働きやすい職場環境を整えていけるように努めていきたいと考えています。

高度な医療チームとともに成長できる

近年、医療の質や安全性の向上、そして高度化・複雑化する業務の増えていくことに対応するため、当院においても様々なスタッフが各々の高い専門性を活かして、目的と情報を共有し、お互いに連携し、患者さんの状況に的確に対応した医療を提供する「チーム医療」を実践しています。また、病院内のみならず、地域においても、救急医療、回復期・慢性期の治療、在宅医療を担うそれぞれの医療機関、救急隊、診療所、訪問看護ステーションなどの関係者を含めて、医療チームとして機能していくことがこれまで以上に求められています。当院の看護部では、このような時代の変化を先取りした看護を目指して、救急医療から集中治療まで、産前から産後まで、入院前から退院後まで幅広い分野でつながりを大切にしてきました。そして、その積み重ねを礎にして、看護に広がり、深まりを見せることができるようになり、看護師が高度な医療チームの一員として成長する機会を得ています。

救命救急センター

重症集中領域に携わる病棟として専門性の高い看護を提供したい

救急看護認定看護師　玉澤　美加子

救命救急センターは、重篤な患者さんの治療や看護を総合的に行っています。また、術後の患者さんに対して集中治療の役割も担っています。そして、動揺されているご家族への精神的なケアなど多種多様な看護を行っています。今後は、これまで以上に急性期の段階から専門性の高い疼痛やせん妄管理を行い、早期離床を実現し、できる限り入院前の生活へと戻れるように、退院支援へと繋げていきたいと考えています。

手術センター

技術の進歩を意識し、倫理的価値観を持ち、患者さんに寄り添いたい

手術看護認定看護師　萩原　義久

手術看護師は、各職種が協働し、各々の専門知識を活かし、最高のパフォーマンスを実践できるように、職種間コミュニケーションの中心として、場の調整をしています。また、術前・術後訪問、手術中に心理的援助や身体保護などケアを行い、患者が望む術後生活に近づけるよう関わっています。そのためにも、患者さんに“自ら手術を受ける”ことを意識してもらえる関わりやサポートにより一層邁進していきたいと思います。

周産期母子医療センター

多職種と連携し、赤ちゃんとお母さんに優しい看護を提供していきたい

アドバンス助産師　山田　美穂

私たちは、対象者のためにチームが一体となり情報を共有し、連携しながらそれぞれが専門的なケアを提供しています。具体的には多職種でカンファレンスを実施し、切れ目のない支援を提供するために市町への情報提供をしています。また、産科外来と産科病棟がユニット化されているため、妊娠期から継続して関わることができます。センターとして、母子に寄り添い、さらに質の高いケアを提供することが使命と考えています。

他職種から見た看護師

看護師は様々な専門職がそれぞれのチカラを発揮するチーム力の要

リハビリテーション技術科　櫻田　隆悟

患者さんにより良いリハビリテーションを提供するためには、私自身の日常的な自己研鑽はもちろんのこと、多職種との連携が大切です。当院は、チームアプローチが優れていると思います。病院には様々な専門職のスタッフが働いていますが、中でも看護師は、声が掛けやすく、親切でとても助かっています。私たちから見た看護師は最も患者の近くで観察とケアを実施しているので、とても重要な役割を担っていると感じています。患者さんは看護師を信頼し、様々なことを話されるので、看護師は、ご家族のことも含めて患者さんを取り巻く多くの事情を把握しています。それが、質の高い診療と治療に繋がっていると思っています。

看護師は患者さんにとっての精神面のケアができる頼もしい存在

臨床工学科　宮崎　洋輔

私は、仕事をする上で相手の立場になって考え、コミュニケーションを取ること、そして、専門性の高い職種としての自覚を持ち、自己研鑽を努めることを大切にしています。全身麻酔の際に、患者さんが声を出すことができず、痛みの把握ができないので、看護師の皆さんがとても体位に気を遣っていることを感じています。また、患者さんが手術室に入室する際に、「担当看護師の○○です。」と笑顔で話しかけ、緊張をほぐす姿は、精神面のケアができる頼もしい存在であると感じています。これからも、器械出し時のサポートや患者さんの精神面でのケアと術中の体位維持に力を頂き、一緒にやっていきたいと思います。

ともに成長する プロフェッショナルへの道

基礎教育からプロフェッショナルへの道を開き、やりたい看護でキャリアアップを支援する

質の高い看護サービスを提供できる看護師の育成を教育の目的とした教育プログラムが充実しています。各個人のキャリア開発を支援し、看護師が主体的に自らの資質を磨き、専門的な知識・技術・態度を持って主体的に実践できる能力を高めていきます。また、院内の専門看護師や認定看護師から日常的に指導を受ける事ができます。

「専門職業人」を育て、よりよい看護を未来につなげるために、ベテラン看護師から新人看護師へキャリアをつなぎ **あなたの成長をバックアップ！**

当院では、すべての看護師が質の高い看護技術を習得できることを目的としたラダー教育が充実しています。

新人教育

新人臨床研修制度による実践的研修

基本的な看護技術に加え、専門性の高い看護技術を習得、また日常業務等で学ぶ。

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

STEP1 ローテーション研修 看護技術の見学・実践 ※6月中旬まで

STEP2 希望した配置部署で長期研修スタート

STEP3 実践を通した研修・夜勤体験

新人教育終了 卒業証書授与

◎JNA（日本看護協会）ラダーに対応した教育を行っています。

LevelⅠ	基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する
LevelⅡ	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する
LevelⅢ	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する
LevelⅣ	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する
LevelⅤ	より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する

そのほか専門看護師、認定看護師、特定看護師など、より専門的で高度なレベルを目指すための教育が受けられます。

専門的で高度なレベルを目指すためのプログラム、支援が整っています。

より実践的スキルアップを目指したい人に対し、スペシャリストによる様々な研修プログラムを準備しています。また、専門看護師・認定看護師・特定行為看護師などを目指す人への支援体制が充実しています。

充実の支援体制だから頑張れる！

\これが！『磐田式』

新人教育・支援体制の3つの特徴

全員参加の支援体制

当院では、新人を支援するのは2年目以上の全職員だと考えています。あえてプリセプター制度は導入せず、全員で新人を支える意識を強化することで、誰にでも相談できる環境を整えています。

2年目になってから配属

入職前に研修したい部署調査を行い、4月から2週間ごと5クールのローテーション研修を実施します。ここで社会人、専門的職業人としての自覚を養い、基本的な技術や知識の習得を行います。そして再度希望部署の調査を行い、長期研修部署を決定し、2年目からが正式配属となります。

新人の部屋を確保

ローテーション研修中は、新人専用の部屋に出勤してから各部署への勤務に向かいます。同期の看護師との絆を深め、将来的に支え合い、高め合っていけるような仲間づくりを目的としています。

先輩看護師の高い知識を直接学べる環境で、自分のスキル・知識・考え方を向上させたい

7階西病棟　看護師
鈴木　巧真

1年目

入職3ヶ月間はローテーション研修で2週間毎に6部署で研修し、先輩方の看護観・患者さんとの関わり方が学べ、先輩の技を目の当たりできたことが自分の財産となりました。そんな中で、不安の表出があった患者さんから「話を聞いてくれてありがとう。治療頑張るね」と、前向きな気持ちの一助となれた事が嬉しかったです。患者さんの気持ちを汲み取り、信頼される看護師を目指します。そして、その人らしく過ごせるように患者さん・ご家族の意向を意識した個別性のある関わりをできるようになりたいと思います。

価値観や大切にしたいことが違うそれぞれの患者さんの立場に寄り添う看護師になりたい

5階西病棟 看護師
橋口　明那

2年目

色々な価値観があり大切にしたいことなど人それぞれ違うので、患者さんの立場になって考えられる看護を大切にしていきたいです。私の部署には5つの科があり、たくさんの知識と技術が必要なので、勉強になることがたくさんあります。特に心電図は難しいですが、少しずつわかるようになり自信に繋がってきました。初めは技術面で不安がありましたが、みんなが「思いやり」を持って働いているので、先輩達の優しい指導のおかげで、患者さんや家族への対応の仕方や考え方が学べ、成長を感じるようになってきました。

個人のチャレンジを応援してくれる環境で、健康寿命を延ばす看護に取り組んでみたい

4階西病棟　副看護師長
青葉　節子

21年目

私はこれまで「置かれた場所で咲くこと」の重要性を学んで来ました。患者さんやスタッフと相対する時、その人の良い部分を見るように心がけています。また、「幸せは自分の心が決める」という言葉に感銘を受けポジティブシンキングで他者と協働することを実践しています。当院は、社会情勢を常に意識し新たな取り組みにチャレンジしているので、私は、地域にまで視野を広げるスキルや活動ができる行動力・知識を得て、超高齢化社会に向けて、健康寿命を延ばすための取り組みや看護ができる看護師になりたいと思います。

適切なケアができる思いやりのある看護師として、常に向上心を持って、学び続けたい

6階西病棟　看護師
鈴木　里奈

4年目

今どんなことが辛いのか、不安なのか患者さんの立場になって考えるようにしています。また、患者さんに関わる全てのことを視野に入れることができるように、ご家族とコミュニケーションをとることも大切にしています。治療のため入退院を繰り返している患者さんから「今回の入院もあなたが担当してくれて嬉しい。」と言ってもらえたことが仕事への励みになりました。患者さんが安心・安全な入院生活を送れるように、必要な時に適切な判断やケアができるように、日々進歩していく医療知識や技術を身につけていきたいです。

私たちがどんな仕事や職場を提供したいのかを看護師のメッセージで知ってもらいたい

ナラティブサイトは当院の看護師のナラティブ（語り）を集めたホームページです。「ナースのストーリー」では、看護師になったきっかけ、仕事のこだわりや魅力、今後のチャレンジなど個人のキャリアについて語られています。また、「リーダーの想い」では、メンバーへの成長支援、職場づくりへの想いなどが語られています。
「新人のあゆみ」ではすべての新人による1年間の振り返りが語られており、いろんなタイプの新人看護師の1年を知ることができます。

まずはご覧ください！

http://www.iwata-ns.com/ 検索

患者ファーストで地域に根ざした看護の充実

安全・安心・質の高い看護で地域と共に成長できる

当院は地域医療支援病院として安心してその人らしい生活ができるように、切れ目のない充実した医療を提供するために、地域医療連携業務だけでなく病気のことや医療事情等を知って頂くための広報活動、健康な暮らしができるように要望に応じたテーマで講座の提供をしています。医療の質の向上と効率化を進め、病態に応じた医療を提供するため関係機関と連携し、安心、安全な医療を提供することで、地域住民や医療機関から選ばれる病院づくりを進めています。

入院から退院、地域に戻るまで安心した医療を提供しています。

外来
乳がん看護認定看護師
太田　由美

乳がんと闘う患者さんが、私たちの介入でよりよく生活されていることがやりがい

私は乳がんと診断された患者さんへの治療に対する意思決定支援や必要とされる情報提供、治療における身体的・精神的な支援をしています。地域においては、訪問看護師と乳がんの治療中で、セルフケアがうまくいかない患者さんに対してどのようなケア方法が必要かを一緒に考えます。また、多職種への橋渡しも私たちの大切な仕事で、薬の処方については医師に相談したり、リンパ浮腫に関してはリハビリとの連携、精神的な介入は心理士にも相談しています。私たちの介入により、病気と闘いながらも患者さんの生活によりよい変化が生まれてくることが、この仕事のやりがいであり魅力だと思っています。

認知症疾患医療センター
看護師
森田　洋一

『病気になっても住み慣れた地域で暮らしていける』ように患者さんの生活を支えたい

私は、病気に関すること、治療に関すること、生活支援に関することのあらゆる状況の認知症に関する相談を受けています。外来に通院している方だけでなく、地域で療養されている方の不安や心配事にも手を差し伸べています。私は先入観を持たずに本人やその家族・身内の方の想いに耳を傾け、周囲の状況を理解しながら接するようにしています。地域ケア関係者と情報を交換しながら社会資源の活用を考えて、その方の生活スタイルを考えて支える看護を提供していけるのはとてもやりがいがあります。当院で高度医療を学びながら地域連携を学ぶことができるのはこれからの看護ケアの成長の糧になっています。

入退院管理室
看護師
金井　千春

できる限り意向に沿った環境で不安なく退院後の生活に移行できるよう支援していきたい

私は入院前から退院後の生活までを見通した支援をしていています。入院後に行う検査や治療、入院期間等による退院後の生活への影響を患者さんやご家族に理解して頂き、できる限りご意向に沿った環境で不安なく退院後の生活に移行できるよう支援していきます。そのためにも患者さんが話しやすい雰囲気づくりを大切にしています。また、院内の医師、看護師、リハビリ、薬剤師、栄養士等、退院後関わるケアマネージャー、往診医、訪問看護などの在宅サービス関係者とより良い連携を取ることを大切にしています。「安心した」「たくさんの方に助けてもらえて嬉しい」といった言葉を頂けるのがやりがいになっています。

6階東病棟
看護師
寺田　千恵

入退院を繰り返す患者さんの在宅や外来でのイキイキとした表情を見ることが日々の励み

呼吸器内科病棟では癌や慢性肺疾患などにより入退院を繰り返す患者さんが多くいます。自宅で治療の継続を余儀なくされる患者さんが多く、退院後の日常生活の質と自宅でも安全に治療が継続できることを意識しています。中でも在宅酸素を使用している方は退院後訪問をし、生活の場で困ったことを聞いて支援をしています。また、外来とも連携では、入院中からの継続した看護を行っています。在宅や外来で患者さんのイキイキとした表情を見ると私も自然に笑顔になり、日々の励みになっています。急性期～在宅まで幅広く、人としての考え方や価値観等、通常では学べないことを学べるので充実しています。

子ども参観日

周産期センター　副看護師長
伊藤　葉子

column

家族の理解を得られ、意味を感じて仕事に向き合おうとする看護師が増えるのが嬉しい

当院で勤務している看護師を応援するプロジェクトとして、夏休みを利用し、看護師のお子さんと配偶者を対象に「子ども参観日」を開催しています。2019年は20人のお子さんと、5人の配偶者13組が参加されました。参加者は看護師の仕事について説明を受けた後、腕章をつけて病院内を案内しました。お子さん達は、働いているお母さんやお父さんの姿を見て、緊張したり、笑顔になったりしていました。嬉しいことは看護師から「家族に仕事を見てもらい気持ちが前向きになった」「子どもにわかってもらえたという安心感を得られ、この仕事を続けようと思った」などモチベーションが上がる言葉が聞かれたことです。

全職員が「医療の原点は思いやり」をモットーとして地域の人々にますます信頼され愛される病院を目指しています。

基本理念

医療の原点は思いやり ホスピタリティー

この基本理念を達成するため、5つのテーマを念頭におき、心温かで、心豊かな患者サービスを提供し、地域の人々に信頼され親しまれる病院づくりを目指すものである。

スピーディー
来院から退院まで「医事・外来・検査・薬局等」の各部門の協力体制により迅速な対応を行う。

やさしさ
人間を大切にし「心と心のふれあう人間観の中で」ひとりひとりの患者や家族におもいやりのある心をもつ。

アメニティー（快適環境）
患者さんのプライバシーに配慮するため、たがいに理解しあい、相手の個性を認めた上での接し方や説明を行う。

わかりやすさ
患者さんの立場をよく理解し、わかりやすい方法で接する。

プライバシー
患者さんが快適に入院生活を過ごすことができるように、清潔で静かで安心できる環境を提供する。

看護部理念

当院の基本理念である「医療の原点は思いやり」に基づき
地域の皆さまに信頼される安全で質の高い看護を提供します

1. 私たちは、常に“やさしさ”“温もり”をもち、心に寄り添う看護を提供します。
2. 私たちは、地域の医療・保健・福祉と連携した看護を展開します。
3. 私たちは、専門職業人として自己研鑽に努めます。
4. 私たちは、多職種と協働し患者中心のチーム医療を推進します。
5. 私たちは、病院職員として病院経営に参画します。
6. 私たちは、互いの多様性を認め、助け合える職場をつくります。

看護体制

看護配置：一般病棟入院基本料7対1
勤務体制：一般病棟 変則2交代勤務
看護方式：受け持ち看護方式をとり、担当看護師は入院から退院まで責任を持って受け持ち患者様に看護を提供しています。

施設概要

病床数：500床
併設施設：健診センター／救命救急センター／周産期母子医療センター／外来東館（化学療法室・放射線治療科・相談支援センター）

このパンフレットの誕生ストーリー

このパンフレットを作るにあたり、盛り込みたい内容を先輩たちが話し合いました。「何を一番に伝えようか？」と話し合った結果、磐田市立総合病院の看護師として、この地域の人々を支えるために、暮らしに目を向けて急性期看護を見直す取り組みをしていることを一番に伝えたいと考えました。そして、全員の手で新人を育て、地域と連携しながら看護を提供している私たちの思いを盛り込むことにしました。

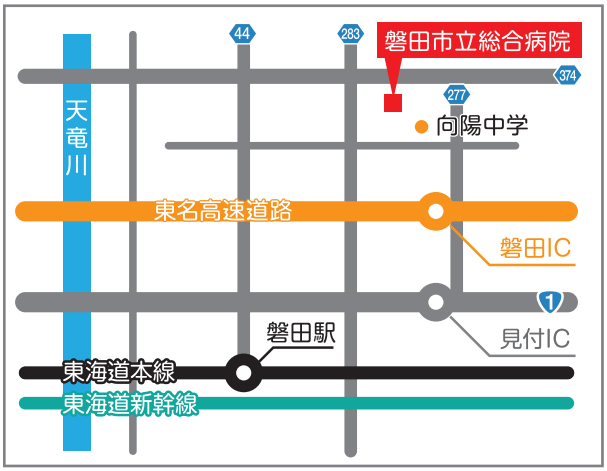
磐田市立総合病院

〒438-8550 静岡県磐田市大久保 512-3
Tel. 0538-38-5000（代表）

くわしい情報は看護部ホームページをご覧ください
磐田市立総合病院 看護部

バスをご利用の場合
JR「磐田駅」より遠鉄バス「磐田市立病院行」約25分

お車をご利用の場合
東名高速道路「磐田IC」から約7分
磐田バイパス「見付IC」から約10分

［ 看護部 ］

［ 交通アクセス ］